

南小たば風通信 2018

平成30年5月30日 第5号

運動会がもうすぐですね。でも、研究も・・・

先日は、特別時間割に入っているにもかかわらず、理論研究の時間をとっていただきありがとうございました。三浦主査から説明と資料をいただいていますので、今後の授業づくりに活用していきますしょう。

主査の講話を含め、南小の今後の研究の進め方として、以下のようなことが大切だと思いますのでまとめてみました。

1. 国語科の授業づくりのポイント

(1) 指導事項（求められる資質・能力）を確認し、重点となる指導事項を設定する。

今年度の研究は、現行指導要領の目標をもとに、各学年の指導事項を確認して設定することとします。評価を現行指導要領で行うためです。

教科書の指導書でも確認できますが、詳しく説明が書かれている学習指導要領できちんと確認しましょう。

(2) 適切な言語活動を設定する。

- ・活動自体が目的ではないことを確認しましょう。
- ・言語活動はあくまでも手段です！ですから、指導事項の内容が明確にならないと言語活動を設定してもズレが生じる場合があります。
- ・「適切な言語活動が・・・」という場合、教科書の手引きをアレンジして活用したり、『言語活動の充実に関する指導事例集』を参考にしたりしてはどうでしょう。


(3) 指導事項の内容について適切に評価する。

- ・指導事項の内容が適切に評価できる方法も検討しましょう。
(発言・ノート・作成物・話し合いの様子 など)

2. 南小の研究に関わるポイント

(1) ピクトグラムを使用して、「主体的・対話的で深い学び」のどの部分と関わりがある時間なのかを明確にします。(指導案の中に取り入れます。) 単元の中に「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」がバランスよく入るようにすることで、つけたい力を意識して授業に向かうことができるようになります。

例

時	学習活動	◎評価規準 ☆評価方法	主体的・対話的で 深い学びの位置付け (身につけさせたい力)
4	デパートでの例をもとに事実に対する表現方法を確認し、言葉の使い方では気がつけたいことをまとめる。	◎自分ならどう受け止めたかを交流し、この事例をまとめている。 ☆発言(観察)・ノート	 <対話的な学び> 互いの考えを比較する

(2) あくまでも授業改善を目的としています。授業改善を図ることで目指す子ども像に迫っていければと考えます。次回の研究日では、指導案の形式を後日提案授業の指導案でお知らせします。

(3) その他(これからのことで・・・)

- ・アンケート結果やC R Tの結果などを参考に児童の実態を踏まえましょう。
- ・実態を踏まえた適切な言語活動を設定できるようにしましょう。
- ・単元は問いません。各先生方で研究授業の時期を確認し、どの単元で行うかの目処を立てておくとよいと思います。
- ・国語の研究なので、単元計画が重要になります。本時を決めたらいつからその単元に入るとよいのかを考えておきましょう。